

## +1 (プラスワン)



## 「結果にオミットする」

牧師 横山順一

東神戸に赴任して一年余、体重が二キロ強も増えてしまいました。原因は明らか。運動不足です。

愛犬バースが老犬バースになりました。元氣だった頃は朝夕合わせて一時間は散歩していました。

ところが今や十分も歩くと、肉球が破れて出血する有り様で、ほんのちよつとしか歩けなくなつてしまつたのです。

おしっこを漏らすのもまさしく老化。夜には水分吸収シートの上で寝かせ、翌朝はその後始末に追われます。いわば「介護」の始まりなり。

耳は遠く、目も足もおぼつかなく、感覚も鈍つた彼は、まるで近い将来の私そのものであることでしょう。切なくなりませぬ。

ただ太つたことをすべてバースのせいにはできません。歩行が減つたのは確か。テキメンの結果ですから、どうにかせんとあきません。

それで最近気になるのが、ライザップのテレビCM。皆さんもご存じですよ？

「結果にコミットする」のコピーにほればれします。「たった二ヶ月でこのカラダ」。ぶよぶよのお腹が一回転すると見事に引き締まつた腹筋へ！登場する人みなが劇的に変化しているのを見て、うちの子どもたちも「入りにえ」とつぶやいています。恥ずかしながら私もです。

コミットとは「関与」という意味です。運動させる会社ですから、結果が出ないのでは詐欺です。

このライザップという会社。急成長していると聞きました。何しろ、筋肉運動のみに特化したトレーニングなので、プールなど場所や資金がかからないのです。

駅前にこだわらないので、家賃にも余分なお金を必要としません。たくさんさんのマシンを用いないのも同じく。それは光熱水費にも影響しますから、それら必要経費のどれが一般的なトレーニングジムが掛けている金額の十分の一程度なのだそうです。会社自体がス

リムで、すげえです。

実際、お腹がぼっこり出て来ました。私には八十七キロだった前歴があるので、油断禁物なのです。結果にコミットする自分自身が必要とされてるのかも。

とは言え、それは経営の話。私たちが学ぶ聖書の神は、結果を問う神さまではありません。

そうではなく「途中経過」をこ覧になるのが我がキリスト教の神であるのです。

結果至上主義は、一部の世界では当然でしょうけど、信仰の世界には馴染みません。

むしろ結果に「オミット」するのが信仰です。オミットとは、もともとオフ・リミットから来た言葉。除外という意味です。

結果はどうでも良いというのはありません。結果に振り回されることなく、途中経過を大切にしようということですよ。

ライザップじゃなくて、サイズアップしましょう。信仰の器は、どれだけ太くても良いのですから！

